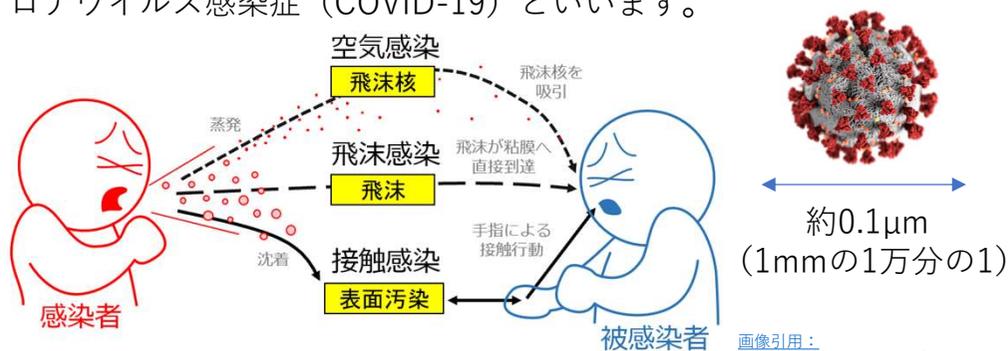


5類になった

# 1月 新型コロナウイルス感染症と後遺症

## ■ 新型コロナウイルス感染症とは ■

1本鎖RNAウイルスである、コロナウイルスに感染した状態を新型コロナウイルス感染症（COVID-19）といいます。



約0.1 $\mu$ m  
(1mmの1万分の1)

画像引用：  
[COVID-19制御における「換気」](#) |  
[COVID-19有識者会議 \(covid19-ima-medical-expert-meeting.jp\)](#)

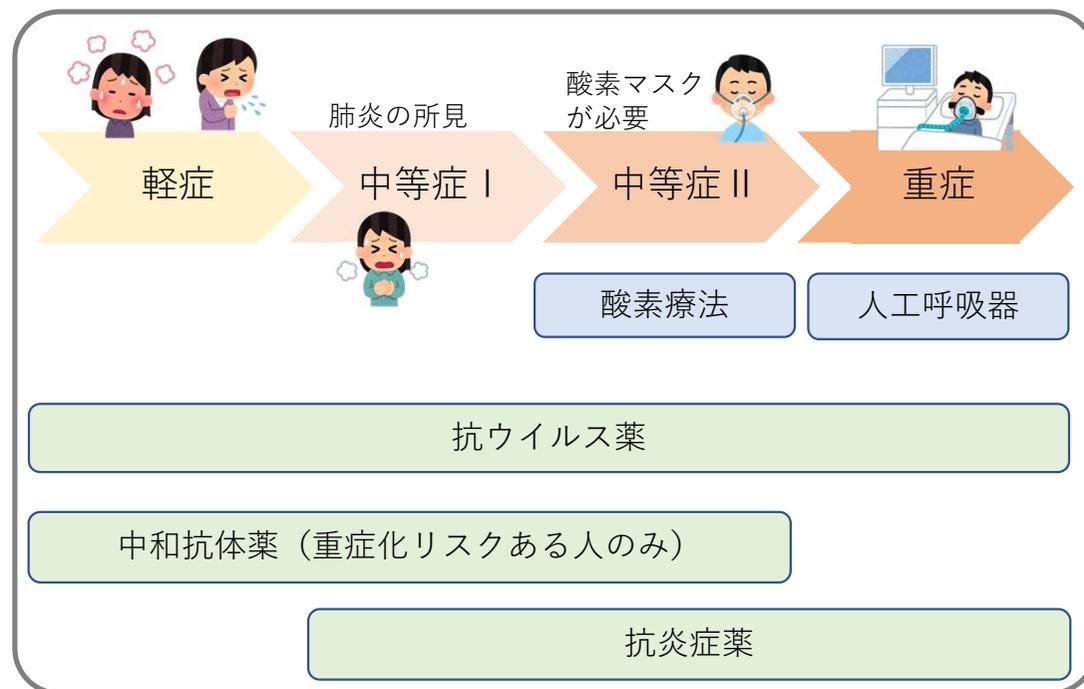
室内環境では、主に3つの感染経路がある

- ① 空中に浮遊するウイルスを含むエアロゾルを吸い込むこと (エアロゾル感染)
  - ② ウイルスを含む飛沫が口、鼻、目などの露出した粘膜に付着すること (飛沫感染)
  - ③ ウイルスを含む飛沫を直接触ったか、ウイルスが付着したものの表面を触った手指で露出した粘膜を触ること (接触感染)
- の3つに大分されています。

症状は多彩で、発熱、咳や咽頭痛などの呼吸器症状、倦怠感などです。頭痛、嘔吐、下痢、味覚・嗅覚障害などが起きる場合もあります。

## ■ 治療法 ■

コロナウイルス感染症の治療方針は、症状によって異なってきます。



厚生労働省『新型コロナウイルス感染症（COVID-19）診療の手引き 第10.1版』、pfizer『新型コロナを学ぶ』より作成

軽症者の分類は以下のように定められています。

- SpO2  $\geq$  96%
- 肺炎の所見を認めない

そのため、39°C以上の発熱や、喉が痛くて食事ができない、咳と鼻水が続いているといった、辛い症状があっても上記の項目を満たしていれば、軽症に分類されます。殆どが軽症で対処療法です。

## ■ 5類移行後のコロナウイルス感染症の対応 ■

WHOが2023年5月5日に緊急事態を終了宣言したことを受けて、日本政府も同年5月8日に、コロナ感染症を2類から、季節性インフルエンザと同様の5類に移行することを決定しました。

	～23年 5月7日 2類感染症	5月8日～9月30日 5類感染症	10月1日～ 24年3月31日	4月1日～
<b>行動制限</b>  <b>感染者</b> <b>濃厚接触者</b>	最大7日間	発症5日を経過、かつ症状が軽快した後1日を経過するまで		
	最大5日間	行動制限はなし		
<b>診察</b>	発熱外来中心	一般の医療機関 		
<b>ワクチン接種</b>	無料	(～24年3月31日まで) 		自己負担
<b>入院や薬の負担</b>	公費負担	自己負担 (最大2万円の補助)	自己負担 (保険診療)	
<b>マスク</b> 	屋内は原則着用	着用は個人の判断 		

## ■ コロナ感染症かもと思ったときは ■

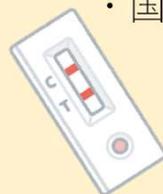
5類感染症に移行後も、各都道府県や厚生労働省では相談窓口を設置していましたが、令和6年9月で相談窓口は終了しています。

- ◎新型コロナウイルス感染症電話相談窓口（令和6年9月30日終了）
- ◎新型コロナワクチンコールセンター（令和6年9月30日終了）
- ◎新型コロナウイルスに関する都道府県の受診・相談センター（令和6年3月31日掲載終了）

救急時は#7119（救急安心センター事業）に連絡しましょう。それ以外は右表の対応をとりましょう。

医療機関に行く前に

- ・常備薬や症状を確認しましょう
- ・国が承認したキットを用いてチェックしましょう



- 【陽性】 症状が軽ければ、自宅で療養を開始
- 【陰性】 感染予防対策を継続しましょう

高齢者、基礎疾患のある方、妊婦などや、症状の重い方はかかりつけ医等、医療機関に連絡しましょう

## ■ コロナ感染症の後遺症について ■

新型コロナウイルスに感染し、治療や療養期間が終了したにもかかわらず、倦怠感や息切れ、睡眠障害などが長引いたり、新たに発症したりする方がいます。

WHO（世界保健機関）では後遺症を「新型コロナウイルスに罹患した人にみられ、少なくとも2か月以上持続し、また、他の疾患による症状として説明がつかないもの（通常はCOVID-19の発症から3か月経った時点にもみられる。）」と定義しています。

コロナ後遺症  
の概要と注意点



画像引用：宮崎県新型コロナウイルス感染症対策特設サイト

### 症状

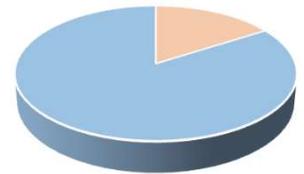


参考、引用文献：厚生労働省、WHO、厚生労働省、日本医師会、東京都福祉保健局感染症対策部計画課、タイムラインで伝える新型コロナウイルスのNHKニュース、三菱総合研究所ヘルスケアコラム（2022.8）、国立環境研究所、Pfizer【新型コロナを学ぶ】<https://wellness-sp.co.jp/corona-related/list-of-authorization-antigen-testing-kits.php>

## ■ コロナ後遺症の割合 ■



新型コロナウイルスに感染した労働者のうち16%程度に、2か月以上の症状持続がみられています



<https://www.nhk.or.jp/shutoken/newsup/20230222b.html>より画像引用

## ■ コロナ後遺症かもと思ったときには ■

コロナ感染後2か月しても症状が継続する際は、コロナ後遺症の可能性を考えて、**かかりつけ医等や地域の医療機関にご相談下さい。**

かかりつけ医がない場合は、各都道府県が設置している『**コロナ後遺症相談窓口**』に相談しましょう。

コロナ後遺症相談窓口 ●●県

産業医より

コロナ感染症の基本的な予防対策は変わりませんので、引き続き遵守してください。また、コロナ感染症の後遺症による業務上の配慮希望は、本人から申出を行うことが原則です。後遺症が継続し、就業に支障を感じていらっしゃる際は、上司や人事労務担当者などにご相談ください。